

2022 年度 事業報告書

<目 次>

2022 年度事業報告及び決算報告	・・・	1
Ⅰ 組織運営	・・・	1
Ⅱ 事業運営	・・・	6
Ⅲ 決算報告	・・・	37

2022 年度事業報告及び決算報告

(2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日)

I 組織運営

1. 組織体制

(1) 会 員

正 会 員：49 (個人・NPO：47、行政・企業：2)

協力会員：50 (個人・NPO：49、行政・企業：1)

※2022 年 3 月末時点

(2) 事務局

【職員数】

40 名 (職員：6 名、契約職員：12 名、パートタイム職員：22 名)

【事務局運営スタッフ】

NO	氏 名	勤務形態	役 職	役 割
1	松原 裕樹	職員	専務理事、事務局長、事業部長	事務局統括、事業統括、業務運営責任者
2	山本 祐二	職員	常務理事、総務部長	総務統括、業務運営責任者
3	増田 勇希	職員	プロジェクトマネージャー	業務運営責任者
4	香川 恭子	職員	プロジェクトマネージャー	業務運営責任者
5	松村 涉	職員	プロジェクトマネージャー	業務運営責任者

【業務運営スタッフ】

NO	事業名	事業所	スタッフ数
1	令和 4 年度中国環境パートナーシップオフィス (EPO ちゅうごく) 管理運営等業務	広島市	職員：1 名、契約職員：4 名
2	JICA 中国 開発教育支援事業	広島市	契約職員：2 名
3	広島市地域子育て支援拠点事業等に係る補助事業 (中区、南区)	広島市	契約職員：1 名、パートタイム職員：22 名
4	福山市まちづくりサポートセンター運営業務	福山市	契約職員：5 名

(3) 役員

【役員数】

15 名（理事：13 名、監事：2 名）

【役員名簿】

役職	氏名	所属	区分
代表理事	安藤 周治	特定非営利活動法人ひろしまね 理事長	県北部
	中村 隆行	広島経済大学 スポーツ経営学科 准教授、興動館プロジェクトセンター長	NPO
副代表理事	三好 久美子	公益財団法人青少年育成広島県民会議 監事	県東部
	山本 一隆	社会福祉法人中国新聞社会事業団 理事長	県西部
専務理事	松原 裕樹	特定非営利活動法人ひろしま NPO センター 事務局長	NPO
常務理事	山本 祐二	特定非営利活動法人ひろしま NPO センター	NPO
理事	香川 恭子	特定非営利活動法人ひろしま NPO センター	NPO
	金谷 信子	広島市立大学国際学部 教授	学識経験者
	児玉 宏	特定非営利活動法人コーチズ 理事	NPO
	茶山 ちえ子	特定非営利活動法人 WAC 広島ふれあいセンター 理事長	NPO
	平尾 順平	特定非営利活動法人ひろしまジン大学 代表理事	NPO
	遠山 勇希 松村 渉	特定非営利活動法人ひろしま NPO センター 特定非営利活動法人ひろしま NPO センター	NPO NPO
監事	久笠 信雄	弁護士	
	赤羽 克秀	公認会計士・税理士	

2. 通常総会の開催

(1) 第 22 回通常総会

日時	令和 4 年 6 月 18 日（土）10:00~12:00
場所	アドバン・ビジネスカレッジ 第 1 会議室 （広島市中区中町 7-41 広島三栄ビル 6 階）
出席者	正会員 47 名中 37 名出席（うち、会場：9 名、オンライン：6 名、書面による表決：15 名、議長等への委任：7 名）
議題	1) 2021 年度事業報告及び決算報告（案）

	2) 2022 年度事業計画及び活動予算 (案) 3) 役員を選定
備 考	オンライン会議システム (Zoom) を併用したハイブリッド開催

3. 理事会の開催

(1) 第 1 回理事会

日 時	令和 4 年 5 月 31 日 (火) 16:00~17:30
場 所	ひろしま NPO センター (広島市中区紙屋町 1 丁目 6-1 紙屋町ギャラリー 303 号室)
出席者	理事: 8 名、監事: 1 名
議 題	1) 2021 年度事業報告及び決算報告 2) 2022 年度事業計画及び活動予算 3) 役員を選任 4) ビジョン・中長期計画 2021-2030 の詳細検討
備 考	オンライン会議システム (zoom) を併用したハイブリッド開催

(2) 第 2 回理事会

日 時	令和 4 年 9 月 28 日 (火) 16:30~18:00
場 所	ひろしま NPO センター (広島市中区紙屋町 1 丁目 6-1 紙屋町ギャラリー 303 号室)
出席者	理事: 9 名
議 題	1) 2022 年度事業計画及び活動予算の進捗報告 2) 組織運営 3) 重点事業 4) その他
備 考	オンライン会議システム (zoom) を併用したハイブリッド開催

(3) 臨時理事会

日 時	令和 4 年 11 月 1 日 (火)
場 所	ひろしま NPO センター (広島市中区紙屋町 1 丁目 6-1 紙屋町ギャラリー 303 号室)
出席者	理事: 12 名

議 題	1) コンプライアンス（職員の休職等に係る問題）
備 考	オンライン会議システム（zoom）を併用したハイブリッド開催

（４）臨時理事会

日 時	令和 4 年 12 月 6 日（火）19:00～20:00
場 所	ひろしま NPO センター （広島市中区紙屋町 1 丁目 6-1 紙屋町ギャラリー 303 号室）
出席者	理事：12 名
議 題	1) 休職者への給与および傷病手当について 2) 休職者の復職について 3) 本件に伴う組織対応について
備 考	オンライン会議システム（zoom）を併用したハイブリッド開催

（５）第 3 回理事会

日 時	令和 5 年 1 月 13 日（金）18:00～19:30
場 所	ひろしま NPO センター （広島市中区紙屋町 1 丁目 6-1 紙屋町ギャラリー 303 号室）
出席者	理事：8 名
議 題	1) 2022 年度事業計画の進捗報告 2) 2022 年度活動予算の進捗報告及び決算見込み 3) その他
備 考	オンライン会議システム（zoom）を併用したハイブリッド開催

（６）第 4 回理事会

日 時	令和 5 年 3 月 27 日（金）16:30～18:00
場 所	ひろしま NPO センター （広島市中区紙屋町 1 丁目 6-1 紙屋町ギャラリー 303 号室）
出席者	理事：11 名、監事：1 名
議 題	1) 2022 年度事業計画の進捗報告 2) 2022 年度活動予算の決算見込み 3) その他
備 考	オンライン会議システム（zoom）を併用したハイブリッド開催

4. その他

(1) Hiroshima Future Party 2022

- 【目的】ひろしま NPO センター設立記念日に正会員・理事・職員・スタッフが集い、取組事例の成果や課題及び最新情報の共有、意見交流等を行うことを通して広島や組織の未来を語り合い中長期ビジョンに活かしていく事を目的とする。
- 【目標】○組織を構成するみんながお互いを知りあう
○情報格差がなくなる（情報共有）
○明日からのモチベーションが高まる（一員としての誇りを持てるように）
- 【日時】2022年11月1日（火）10:30～13:00
- 【場所】酔心本店（広島市中区立町 6-7）
- 【参加者】40名（役員、職員、正会員）
- 【内容】○ひろしま NPO センターの紹介（組織・事業概要、中長期ビジョン・計画）
○各部門の事業・スタッフ紹介
○交流タイム（フリップトーク、歓談）



(2) 社労士顧問契約

岡崎社会保険労務士事務所（岡崎晃 社労士）と2022年11月～2023年10月（※以後1年毎に契約更新を予定）の顧問契約を締結して、毎月1回の定例会議や日常的な相談を行い、労務の改善や整備を図った。

II 事業運営

1. 重点事業の実施内容

(1) 福山市まちづくりサポートセンターの受託運営



福山市まちづくりサポートセンターを受託運営（2022～2024 年度）し、福山の人材が中間支援機能を担うことができるような伴走支援や体制整備を行い、多様な主体が参画するまちづくりや地域課題・社会的課題の解決、サポートセンターの強化に取り組んだ。

①運営体制

【センター長】中尾圭

【スタッフ】坂本佳世、瀬戸房子、三浦孝子、小畑和正

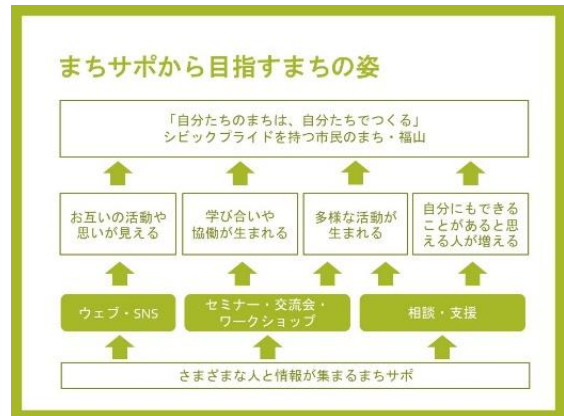
②業務運営計画（一部抜粋）

まちづくりサポートセンターとは

- ・まちづくりに関わる方々の交流拠点
- ・市民活動の支援

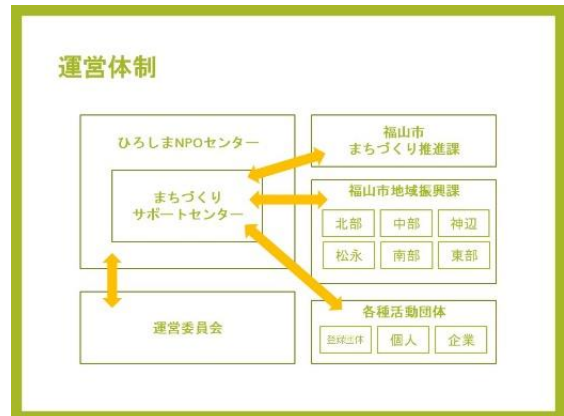
【できること】

- ・スペースの利用／ロッカーやメールボックスの活用
- ・情報コーナー（チラシの掲出、団体情報の閲覧）
- ・市民活動のマッチング
- ・専門相談員による相談
- ・まちサポ情報メールの配信



年間スケジュール

実施内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
1.1 福山市まちづくり推進課の開設											
1.2 まちづくりに関する情報の提供											
1.3 まちづくりに関する情報の提供											
1.4 まちづくりに関する情報の提供											
1.5 まちづくりに関する情報の提供											
1.6 まちづくりに関する情報の提供											
1.7 まちづくりに関する情報の提供											
1.8 まちづくりに関する情報の提供											
1.9 まちづくりに関する情報の提供											
1.10 まちづくりに関する情報の提供											
1.11 まちづくりに関する情報の提供											
1.12 まちづくりに関する情報の提供											



③事業内容

□ヒトマチカフェ

回	開催日時	テーマ
第1回	2022年6月23日(木) 19:00~21:00	福山未来共創塾 2021 近況報告会
第2回	2022年9月29日(木) 19:00~21:00	居場所づくり
第2.5回	2022年10月2日(日) 15:00~17:00	小商い、全国各地の小さな取り組み
第3回	2022年11月25日(金) 19:00~21:00	活動を楽しみ続けるコツ



□ヒトマチセミナー

回	開催日時	テーマ
第1回	2022年8月30日(木) 19:00~21:00	楽しみながら地域課題解決の方法を探ろう
第2回	2022年10月28日(金) 19:00~21:00	楽しみながら地域課題解決の方法を探ろう～福山版のツールを作ろう～
第3回	2022年12月2日(金) 19:00~21:00	楽しいチームのつくり方
第4回	2023年2月3日(金) 19:00~21:00	楽しい会議のつくり方(実践編)



□つれのうて NIGHT

毎月7のつく日（土日祝を除く）19:00～21:00 に開催。



□福山市立大学の講義「都市社会実践演習Ⅱ」と連携したアンケート調査やフィールドワーク

※別紙「まちサポアンケート分析」参照。



□ホームページの開設

<https://fukuyama-machisapo.com/>

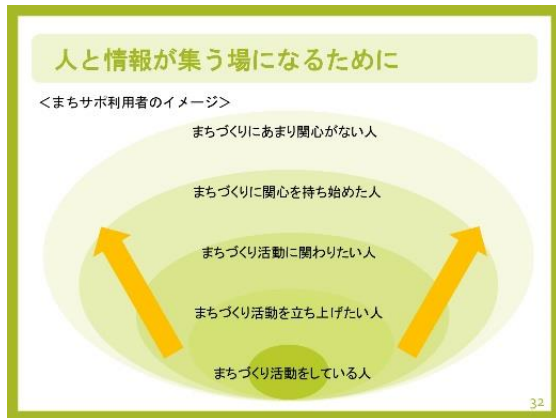
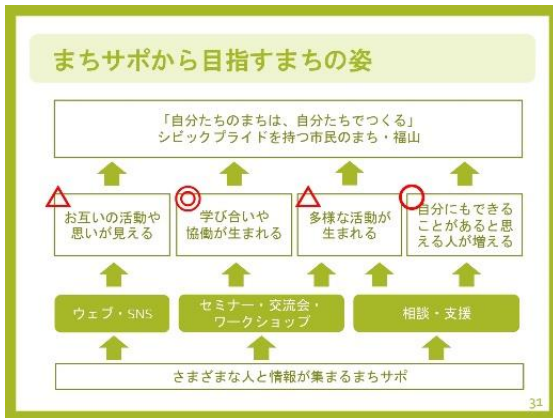


□ヒトマチラジオ

FM ふくやまと連携したまちづくり情報の発信。



④ 成果と課題



- ### 成果
- ・ アンケートの実施によって、活動団体の活動状況と支援ニーズが見えた
 - ・ 主催企画によって、新たな人材・団体を発掘できた
 - ・ 主催企画によって、まちサポの認知度が向上した
 - ・ 主催セミナーによって人材育成ができた
 - ・ Facebookページやウェブサイトを立ち上げ、運用し、まちづくりに関する情報発信を開始した
 - ・ 福山市立大学との連携事業を実施した
 - ・ エフエムふくやまとの連携事業が構築できた
- 33

- ### 課題
- ・ 活動団体への状況把握が不十分である
 - ・ 主催企画に対して登録団体の参加が少なく、求めるニーズに応えられていない可能性がある
 - ・ 相談の多くが問い合わせ対応に終始し、伴走支援の実績にはつながっていない
 - ・ 地域振興課とのつながりは持ったが、まちサポが地域に対してどのような支援ができるか
- 34

(2) スペシャルオリンピックス広島 2022 の開催支援



2022年11月に広島で開催された「2022年度第8回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・広島」に係るボランティアの募集やマネジメント運営の支援を行うことを通して、ボランティア文化の醸成や障害者の活躍促進、地域共生社会の実現を図った。

① ボランティア実行委員会

松原が実行委員長を務め、委員会を毎月開催（2021年9月から2022年11月まで計15回）しながら、ボランティアの募集やコーディネート、関係機関との連携、会場運営等の準備を進めた。

② ボランティア・チェックイン研修

4月に実施した採火式・分火式・トーチランのボランティア運営の課題を踏まえて、今後もコロナ禍でオンラインを中心とした運営になることから、ボランティアの把握や準備、関係者同士の意思疎通が不足することが懸念されるため、ボランティア・マネジメントのための企画を提案し実施した。

【目的】様々な立場のボランティアの団結によって大会運営が成功すると共に、ボランティア自身のやりがいや達成感を促し、大会後も知的障害者の暮らしやすスポーツ活動を支えるボランティア文化が根付くことを目指す。

【日時】2022年9月22日（木）、23日（金・祝）、24日（土）

開催時間：①10:00～11:30、②13:30～15:00、③15:30～17:00

【場所】広島県民文化センター6階 会議室（広島市中区大手町1-5-3）

【参加者】ボランティア登録者（大会スポンサー企業、企業、大学・学生、団体、一般）／48名

【運営】スペシャルオリンピックス広島2022 ボランティア委員会

【内容】○ボランティア同士の交流（自己紹介）

○スペシャルオリンピックスの動画視聴、ボランティアの役割や今後の予定等の説明

○ボランティアの心がまえに係るミニレクチャー



③大会ボランティア運営

2022年11月4日（金）～6日（日）に開催された開会式、競技予選・決勝、表彰式、閉会式について、広島県内の8会場（広島市、呉市、三原市、北広島町）で延べ4,300名のボランティアによる大会運営を行った。



④ボラ写プロジェクト

【時 期】11月3日（木・祝）～6日（日） 大会前日～当日の撮影

11月20日（日）10:00～14:00 ボランティアふりかえり交流会&ボラ写展

【場 所】<撮影>

8会場（広島市、呉市、三原市、北広島町）

<ボランティアふりかえり交流会&ボラ写展>

ひろしま NPO センター事務所およびメタバース空間

【対 象】大会運営ボランティア

【運 営】ひろしま NPO センター、ソー写ルグッド

【内 容】プロボノのカメラマンにより一般ボランティアの活躍風景を写真撮影して、リフレクションムービーを制作し、「ボランティアふりかえり交流会&ボラ写展」においてボランティアに報告共有した。



⑤ ボランティア活動記録

当センターから提案したプロジェクトとして、スペシャルオリンピックス 2022 広島の大会運営を務めた4,300名のボランティアの活躍を動画に記録し、参加したボランティアに成果共有すると共に、次大会への引き継ぎやボランティア活動の周知啓発等に活用する。

【名 称】第8回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・広島

【音楽・協力】HIPPY

【企画・制作】特定非営利活動法人ひろしま NPO センター、ソー写ルグッド株式会社

【撮影・協力】荒井勇紀、加瀬幸多、宿野部隆之、藤原靖史、前原信吾、的場亮、汰木志保

【備 考】©2022「2022年第8回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・広島」
大会実行委員会（特定日家入活動法人スペシャルオリンピックス日本・広島）



(3) 2023年 G7 広島サミットに向けたプロジェクト



2023年に日本で開催される G7 サミット首脳会議に市民社会の声を届けるため、県内外の NPO/NGO 等と連携してネットワークやプロジェクトを立ち上げ、各国政府への働きかけを行う。また、核兵器廃絶だけでなく、グローバルな優先課題をふまえた視点や議論を育み、持続可能で平和な社会を目指すための市民社会づくりを推進した。

① G7 市民社会コアリション 2023

G7 のエンゲージメントグループのひとつである Civil7（市民社会）の運営及び政策提言等を行うための組織として、全国の NPO/NGO が結集したネットワーク組織「G7 市民社会コアリション 2023」を設立し、松原が共同代表を務めている。

□組織概要

【目的】2023年に日本で開催される G7 サミット首脳会議および関連閣僚会議に、市民社会の声が反映され、2030 アジェンダが掲げる「誰ひとり取り残さない社会」の実現に貢献できるよう、議長国である日本政府を含む G7 各国政府に働きかけることを活動目的とする。

【共同代表】木内真理子（特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン 事務局長）
松原裕樹（特定非営利活動法人 ひろしま NPO センター 専務理事・事務局長）

【幹事団体】14 団体

【共同事務局】特定非営利活動法人国際協力 NGO センター（JANIC）
一般社団法人 SDGs 市民社会ネットワーク

【会員数】団体会員：122 団体 個人会員：78 名
※2023年4月28日時点、ひろしま NPO センター含む

【活動期間】2022年5月10日～2023年12月31日

【活動内容】1) 日本国内外の市民社会と協力した G7 関連会合に対する政策提言
2) 日本政府との面会およびサミット関連の情報収集
3) 他のエンゲージメント・グループとの連携構築
4) グローバルな市民社会が開催する「C7 サミット」への協力
5) 首脳会合開催地の市民社会との連携および「市民社会サミット」の開催
6) 市民社会による活動の広報や啓発キャンペーン
7) その他、目的に資する活動

【備考】▼G7 市民社会コアリション 2023 Web サイト

<https://g7-cso-coalition-japan-2023.mystrikingly.com/#home>

□活動概要

毎週の事務局会議及び毎月の幹事会を開催する共に、会員募集や情報発信、ドイツ C7 からの引

き継ぎ、外務省 G7 シェルパとの会合、C7 の運営委員会やワーキンググループの検討・運営、全国の閣僚会合開催地 CSO との情報交換会、政策提言書の首相手交の調整、C7 サミットの開催準備等を進めた。



②Civil7

2022年12月に18名(15か国)による運営委員会(Steering Committee)を設立し、ドイツC7からの引き継ぎ式(12月)及び日本C7キックオフイベント(1月)を開催した。

G7への政策提言書を作成するために、「核兵器廃絶」「気候・環境正義」「公正な経済への移行」「国際保健」「人道支援と紛争」「しなやかで開かれた社会」の6つのワーキンググループを構成し、72ヶ国(うち54か国はグローバルサウス)から700名以上が参加し議論した。



▼Civil7 Communique 2023 (英語版)

https://civil7.org/wpC7/wp-content/uploads/2023/04/C7_communique2023_0412.pdf

▼Civil7 政策提言書 2023 (日本語版)

https://civil7.org/wpC7/wp-content/uploads/2023/04/C7_communique_JPN.pdf

※2023 年 4 月 12 日 (水) に、C7 を代表して日本及び各国の市民社会代表者 10 名 (広島から松原裕樹 (ひろしま NPO センター) と田中聡司 (広島被爆者団体連絡会議) が代表して参列) が首相官邸を訪問し、G7 広島サミットで議長を務める岸田文雄内閣総理大臣と対話し、「C7 Communique 2023 (C7 コミュニケ 2023: 政策提言書)」を手交した。

2023 年 4 月 13 日 (木) ~14 日 (金) に東京プリンスホテル及びオンラインで「Civil 7 Summit 2023」を開催し、山田賢司外務副大臣への C7 政策提言書の手交、G7 サブシェルパを務める中村和彦外務省経済局審議官との対話、分野別ワーキンググループ分科会、エンゲージメントグループの連携対話、レセプション等を実施した。



※広島で開催された首脳会合の期間中を含む 5 月 18 日 (木) ~21 日 (日) に、外務省と連携して広島市青少年センターに NGO スペースを設置し、国内外から広島に集まったマスメディアに対して、全国の NGO/NPO が 50 を超える記者会見やイベント、パフォーマンス等を開催し、市民社会のメッセージを世界に発信した。



③みんなの市民サミット 2023

首脳会合が開催される広島において、市民社会がこの機会をどのように活かすことができるか、呼びかけ人と共に NPO/NGO や関係団体が集い、市民サミットの企画・開催に向けて活動した。

□G7 広島サミット 2023 に向けた市民社会ミーティング及び広島市記者クラブでの記者会見

【日 時】2023年12月12日(月) 9:30~11:30

【場 所】対面会場：ひろしま NPO センター

オンライン：zoom

【参加者】19名(NPO/NGO、被爆者団体、フリーランス、事業者など)

【呼びかけ人】渡部朋子(特定非営利活動法人 ANT-Hiroshima)

河野宏樹(特定非営利活動法人これからの学びネットワーク、特定非営利活動法人環境パートナーひろしま)

平尾順平(特定非営利活動法人ひろしまジン大学)

安彦恵里香(ハチドリ舎、カクワカ広島)

松原裕樹、松村渉(特定非営利活動法人ひろしま NPO センター)

【内 容】4月の開催を目標として、1~3月に参画者の輪を広げながら、実行委員会形式で「G7 広島市民サミット(仮称)」の企画準備や情報発信等を進める計画を協議した。

【備 考】同日に広島市役所記者クラブにて記者会見を行い、G7 サミットに向けた全国(G7 市民社会コアリション 2023)と広島(市民サミット)の市民社会の取組を発表した。



□みんなの市民サミット 2023 実行委員会

2023年4月15日(土)~17日(月)に広島国際会議場をメイン会場として、「みんなの市民サミット 2023」を開催し、G7 サミットの主要議題に係るグローバルとローカルの問題に対する NPO/NGO の取組の情報交流や学び合い、市民が参加しやすいイベントや情報発信等を実施するため、県内外の市民社会組織や個人等から実行委員会を設立し、開催のための準備を進めた。

【共同代表】渡部朋子(特定非営利活動法人 ANT-Hiroshima 理事長)

松原裕樹(特定非営利活動法人ひろしま NPO センター 専務理事・事務局長)

金羽木百合枝(視覚障害者団体 Blind クリエイター【お好みーズ】)

【幹事団体】①特定非営利活動法人 ANT-Hiroshima/渡部朋子

②特定非営利活動法人環境パートナーひろしま/河野宏樹

- ③特定非営利活動法人ひろしまジン大学／平尾順平
- ④Social Book Cafe ハチドリ舎／安彦恵里香
- ⑤特定非営利活動法人ひろしま NPO センター／松原裕樹
- ⑥視覚障害者団体 Blind クリエイター【お好みーズ】／金羽木百合枝
- ⑦広島 G7 芸術文化コンソーシアム／積山ミサ
- ⑧特定非営利活動法人市民活動センター西日本／胡田倫宏
- ⑨RiverDo!基町川辺コンソーシアム／岡本泰志
- ⑩平和創造クラブ「ひまわり」／伊藤さえみ
- ⑪広島被爆者団体連絡会議／田中聰司
- ⑫核政策を知りたい広島若者有権者の会／高橋悠太
- ⑬特定非営利活動法人シャプラニール＝市民による海外協力の会／小松豊明

【監 事】特定非営利活動法人シャプラニール＝市民による海外協力の会

【事務局】特定非営利活動法人ひろしま NPO センター

【賛同会員】団体・法人：44 団体、個人：29 名

【実施内容】1月27日（金） G7 広島市民サミット（仮称）第1回企画ミーティング

2月24日（金） 市民サミット（仮称）第1回実行委員会

3月7日（火） 市民サミット（仮称）第1回幹事会

3月24日（金） みんなの市民サミット 2023 第2回実行委員会

4月4日（火） みんなの市民サミット 2023 第2回幹事会

4月7日（金） みんなの市民サミット 2023 第3回実行委員会&記者会見

□みんなの市民サミット 2023 の開催概要

【名 称】みんなの市民サミット 2023～G7 広島サミットに市民の声を届ける～

【目 的】2023年に開催される G7 広島サミットを契機に、「核のない、誰ひとり取り残さない、持続可能な社会」を私たちの手で創ることを目的として、国内外の市民社会組織等が広島に集い、G7 サミットや社会課題に対する理解、市民の参加、NPO/NGO 等のアクション、ステークホルダーとの連携、政府への提言等を促すと共に「みんなの市民サミット 2023」を開催する。

【開催日】2023年4月16日（日）～17日（月）

【場 所】広島国際会議場（広島県広島市中区中島町1-5）及び周辺施設（平和記念公園等）

※プログラムの一部はオンライン配信によるハイブリット開催を予定。

【対象者】2日間で延べ1,000名（現地：500名、オンライン：500名）を想定

○G7 サミットや社会・地域課題に関心のある市民

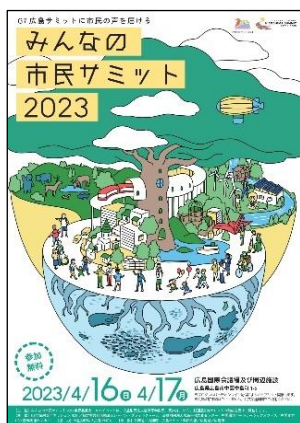
○広島県内で G7 サミットに働きかけを行う市民団体や NPO/NGO

○全国・広島県内の NPO/NGO、NPO 支援センター、ネットワーク団体、関係機関

○市民社会組織のステークホルダー（ユース、企業・事業者、自治体、学校・教育機関、大学・研究機関、議員）

- G7 市民社会コアリション 2023 会員（団体、個人）
 - 全国各地の閣僚級会合に関連する市民社会組織
 - G7 サミットのエンゲージメントグループ（Civil 7、Think 7、Youth 7、Women 7、Labour 7、Science 7、Business 7）
 - マスコミ・メディア関係者（世界、全国、広島） など
- 【主催】 みんなの市民サミット 2023 実行委員会
- 【共催】 G7 市民社会コアリション 2023、特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム、中国環境パートナーシップオフィス、中国地方 ESD 活動支援センター
- 【後援】 外務省、内閣府、広島サミット県民会議、広島県、広島市
- 【来賓】 広島県知事：湯崎英彦様
 広島市長：松井一實様
 外務省：日下部英紀様（国際協力審議官）、国際協力局民間援助連携室
 広島サミット県民会議：村上慎一郎（事務局長）
 広島県：杉山亮一様（地域政策局長）新宅郁子様（環境県民局長）
 広島市：阪谷幸春様（市民局長）
- 【備考】 ▼みんなの市民サミット 2023Web サイト
<https://hiroshimacsummit2023.mystrikingly.com/>

※2023年4月16日（日）～17日（月）に広島国際会議場で「みんなの市民サミット 2023」を開催し、C7 サミットの活動報告やアーティストによる演奏、高校生による活動発表、17のテーマで分科会（核廃絶、気候変動、紛争、子育て、ユース、防災など）等を実施した。2日間で延べ700名（※集計中）を超える国内外からの市民が参加し、G7 サミットや社会課題について立場や分野を横断した学びあいを行い、C7 政策提言書の後押し（核廃絶に関する広島からの声）に繋がった。



③取材報道記事

2023 広島サミット

ひろしまのNPO・NGOが、市民社会も対話・提言の出番



「広島サミット」は、市民社会も対話・提言の出番。市民社会も対話・提言の出番。市民社会も対話・提言の出番。

市民社会も対話・提言の出番。市民社会も対話・提言の出番。市民社会も対話・提言の出番。

市民社会も対話・提言の出番。市民社会も対話・提言の出番。市民社会も対話・提言の出番。

2022年7月23日中国新聞

国際的な課題 C7が提言へ

NPO・NGO・個人が有志連合

環境や人道支援テーマ



広島市で来年5月にある先進7カ国首脳会議（G7サミット）に向け、市内内外のNPO法人や非政府組織（NGO）が、地球環境や人道支援といった国際的な課題について学びを深める活動を始めた。G7サミットの前に集大成となる国際会議「C7サミット」を東京で開く。Cは「Civil Society（市民社会）」の頭文字。広島での議論なども踏まえ、各国政府への政策提言をまとめる計画だ。（久保友美穂）

「C7サミット」は、市民社会も対話・提言の出番。市民社会も対話・提言の出番。市民社会も対話・提言の出番。

2022年8月25日中国新聞

核廃絶政策 市民提言へ

各国首脳に働きかけ

広島サミット



G7首脳への政策提言に核兵器廃絶を盛り込むと話す堀内事務局長（中央）

「核兵器廃絶」について提言する。核兵器廃絶について提言する。核兵器廃絶について提言する。

核兵器廃絶について提言する。核兵器廃絶について提言する。核兵器廃絶について提言する。

2022年12月13日中国新聞

政策提言書作成や催し

NATOや首脳会議へ活動計画

広島サミット2023



平和のトップの6人が12日広島市役所で記者会見を開き、来年5月に市内で開催される先進7カ国首脳会議（G7サミット）に向けた活動計画を発表した。来年1〜3月に核兵器廃絶や気候変動などの政策提言書を作成するほか、4月には国内外の市民団体が国際的課題を話し合い、イベントを広島と東京で開催する。

「C7サミット」は、市民社会も対話・提言の出番。市民社会も対話・提言の出番。市民社会も対話・提言の出番。

2022年12月13日読売新聞

核のない社会を共に

みんなの市民サミット宣言案

広島で閉幕 10カ国超700人参加



広島市で5月19日～21日ある先導7カ国首脳会議（G7サミット）を前に、広島県内外の市民団体が企画した「みんなの市民サミット」が17日、中区の広島国際会議場で2日間の日程を終え閉幕した。市民が16日から核廃絶や気候変動などの課題を議論。「核のない誰も取り残さない持続可能な社会を共につくる」を目標とする共同宣言案をまとめた。



取りまとめた宣言案を閉幕行事で掲げる参加者たち

市民サミットは子育や防災を含む7テーマで分科会を開催。米岡、フランス、イタリア、インドなど10カ国以上から700人余りが集い、国際情勢や地域の課題を学び合った。閉幕行事では各分科会での議論を踏まえ、実行委員の共同代表であるNPO法人ひろしまNPOセンター（中区）の松原祐樹事務局長らが「弱き立場の人と共に生き、安心して安全な対話をこつくり続ける」などの内容を盛り込んだ共同宣言案を発表した。

「ロハルな問題とローカルな問題つながっていて、多くの人が実感できている。今回、議論しながら世界を変える力にした」と話した。

2023年2月9日
中国新聞 SELECT

2023年4月18日中国新聞

※新聞・テレビ・Web・SNS等の50を超えるメディアに掲載。

2023年5月27日中国新聞

2. 各種事業の実施内容

4つの事業方針に基づき、2022年度は、ステークホルダーとのコミュニケーションを促進する事業が6事業（うち継続：5、新規：1）、組織力・担い手を育成する事業が17事業（うち継続：13、新規：4）、市民社会連帯を強化する事業が11事業（うち継続：9、新規：2）、社会的インパクトを創出する事業が7事業（うち継続：5、新規：2）、計41事業（うち継続：32、新規：9）を実施した。

（1）ステークホルダーとのコミュニケーションを促進する事業

ステークホルダーとの対話や関係構築を推進し、市民セクターの存在意義や成果に対する理解促進、持続可能な社会づくりのための課題共有や目標形成を図った。

①実施概要

NO	区分	事業名	事業内容	期間	場所	収益
1-1	継続	情報収集・発信	NPO 支援に関するイベント・助成金・施策等の情報収集や、ホームページ・Facebook・ニュースレター等を通じた発信。	年間	全国	自主財
1-2	継続	データベース構築・活用	各地の団体・取組・課題等の情報の記録・整理や、事業推進のためのデータ活用。	年間	全国	自主財
1-3	継続	相談対応業務	NPO・ボランティア・市民活動に関する各種相談の対応。	年間	全国	自主財
1-4	継続	委員等の派遣	各主体から依頼のある委員会・協議会等への委員派遣。	年間	全国	自主財、謝礼金
1-5	継続	ひろしま未来交流会	立場・分野・地域・世代をこえて広島を語り合う交流会の企画運営。	年間	県内	自主財
1-6	新規	ガレリア事務所	新しい拠点を活用した情報交流の促進や新規事業の企画創出。	年間	県内	自主財

②実施結果

▶1-1 情報収集・発信

NPO に係る活動や支援の状況、主体間ネットワークの形成に資する情報等を収集した。収集にあた

っては、NPO・行政（国、県、市町村）・企業等の報道発表資料・関連刊行物・報告書、必要に応じマスコミやインターネットの情報、メルマガ等を活用するとともに、関係団体・機関との情報交流を実施した。

また、ホームページを通して、広島県内で実施される各主体の行事、補助金・助成金情報等、NPO活動に関わる団体等の基盤強化、連携強化に資する情報を発信すると共に、Facebook ページを活用して主催行事や協力事業、活動状況を中心に情報発信を展開した。

<ホームページ (<http://npoc.or.jp/>) > <Facebook ページ (<https://www.facebook.com/hiroshima.npoc>) >



▶1-3 相談対応業務

NPO・ボランティア・市民活動等に関する各種相談に対応した。

OUTPUT 相談件数：312 件

OUTCOME NPO 等が抱える課題解決やステークホルダーとの連携創出

▶1-4 委員等の派遣

関係機関から依頼のあった委員会・協議会等に人材を派遣して参画し、取組への助言や協力、多様なステークホルダーとの対話交流を行った。

OUTPUT 派遣参画した機関：67 主体

OUTCOME 関係機関の取組への助言・協力や多様な主体との対話交流

<委員等派遣の内訳>

担当者	役割／名称／主催
安藤 周治	【理事長】特定非営利活動法人ひろしまね

	<p>【理事】 作木観光協会副会長</p> <p>【理事】 三次広域商工会</p> <p>【理事】 一般社団法人 みよし観光まちづくり機構</p> <p>【理事】 コミュニティ政策学会</p> <p>【評議委員】 公益財団法人マツダ財団</p> <p>【座長】 水源地域支援ネットワーク運営会議／国土交通省</p> <p>【審査委員長】 水の里の旅コンテスト／国土交通省</p> <p>【副会長】 ローカル・マニフェスト中国運営委員／ローカル・マニフェスト推進ネットワーク中国</p> <p>【委員】 新たな担い手等による水源地域在り方検討会／国土交通省</p> <p>【委員】 広島県河川整備基本方針等検討委員会／広島県（河川課）</p> <p>【委員】 さとやま未来円卓会議／広島県（中山間地域振興課）</p> <p>【委員】 へいわ創造機構ひろしま（HOPe）／広島県（平和推進プロジェクトチーム）</p> <p>【評価委員】 過疎地域等自立活性化交付金事業／総務省</p> <p>【評価委員】 集落ネットワーク圏形成事業／総務省</p> <p>【幹事】 ひろしま国際交流サミット／公益財団法人ひろしま国際センター</p> <p>【大使】 北海道むかわ町大使</p> <p>【就任】 中山間地域コーディネーター&アドバイザー／山口県</p> <p>【就任】 地域力創造アドバイザー／総務省</p> <p>【就任】 青少年育成指導者／公益社団法人青少年育成広島県民会議</p> <p>【認定】 地域活性化伝道師／内閣府</p>
中村 隆行	<p>【共同代表】 日本ファンドレイズ協会中国チャプター</p> <p>【理事】 自治労 自治研究センター／全日本自治団体労働組合</p> <p>【副会長】 広島県障がい(児)者と手をつなぐ県民会議</p> <p>【評議員】 公益財団法人広島県男女共同参画財団</p> <p>【評議員】 社会福祉法人広島県社会福祉協議会</p> <p>【評議員】 社会福証人広島市社会福祉協議会</p> <p>【監事】 社会福祉法人もみじ福祉会</p> <p>【監事】 東日本大震災広島避難者の会アスチカ</p> <p>【監事】 特定非営利活動法人子どもコミュニティネット広島</p> <p>【評価委員】 岡山県ボランティア・NPO 活動支援センター</p> <p>【幹事】 中国地域コミュニティビジネス/ソーシャルビジネス協議会</p> <p>【委員長】 江田島市まちづくり助成金審査委員会／江田島市</p> <p>【委員長】 広島県高陽東高等学校運営協議会／広島県教育委員会</p> <p>【役員】 広島県プラチナ世代支援協議会</p> <p>【委員】 呉市市民協働推進委員会／呉市</p> <p>【委員】 呉市住民自治組織あり方検討委員会／呉市</p> <p>【委員】 道の駅再整備基本計画策定検討委員会／安芸太田町</p>

	<p>【委員】社会課題解決プロジェクト広域テーマ募金検討委員会／社会福祉法人広島県共同募金会</p> <p>【委員】福祉サービスに対する苦情処理第三者委員／社会福祉法人広島県社会福祉協議会</p> <p>【審査委員】広島県ユネスコ協会 ESD 大賞（学校部門）</p> <p>【認定】地域活性化伝道師／内閣府</p>
三好 久美子	<p>【副会長】広島県博物館協議会</p> <p>【監事】公益社団法人青少年育成広島県民会議</p> <p>【委員】尾道市協働のまちづくり委員会／尾道市</p>
児玉 宏	<p>【委員】広島市共同労働審査委員会</p>
松原 裕樹	<p>【副議長】広島市災害ボランティア活動連絡調整会議／広島市（市民活動推進課）</p> <p>【委員】広島県環境審議会／広島県（環境政策課）</p> <p>【委員】広島県社会福祉協議会ボランティア活動・福祉教育推進委員会／社会い福祉法人広島県社会福祉協議会</p> <p>【選考委員】RCC ラブ・グリーン賞／株式会社中国放送</p> <p>【委員】三原市市民協働推進委員会／三原市（地域企画課）</p> <p>【委員】地域の実情を踏まえた体験活動事業（特色化事業）に関わる実行委員会／国立江田島青少年交流の家</p> <p>【委員】こくみん共済 coop 地域貢献助成審査委員会／こくみん共済 coop 中四国統括本部</p> <p>【委員】環境パートナーシップオフィス等運営委員会／地球環境パートナーシッププラザ・関東環境パートナーシップオフィス</p> <p>【幹事】へいわ創造機構ひろしま（HOPe）／広島県（平和推進プロジェクトチーム）</p> <p>【審査員】福山市協働のまちづくり事業審査会委員／福山市（まちづくり推進課）</p> <p>【審査員】イオンチアーズクラブサミット中四国大会（審査会）／イオンリテール株式会社中四国カンパニー</p> <p>【認定】地域活性化伝道師／内閣府</p>
山本 祐二	<p>【委員】広島県医療費適正化計画検討委員会／広島県（医療介護保険課）</p> <p>【委員】公益信託広島市まちづくり活動支援基金運営委員会／株式会社広島銀行（アセットマネジメント部）</p>
松村 渉	<p>【委員】「もったいない」をつないでいく会議／広島市社会福祉協議会</p> <p>【委員】広島市における生活困窮者支援体制構築のためのプラットフォーム整備事業／広島市健康福祉局保護自立支援課</p> <p>【委員】大原学園教育課程編成委員／大原ビジネス公務員専門学校広島校</p>
増田 勇希	<p>【委員】広島県被災者生活サポートボラネット推進会議委員会／社会福祉法人広島県社会福祉協議会</p> <p>【委員】広島県地域福祉計画策定委員／広島県（共生社会推進課）</p>
香川 恭子	<p>【構成員】広島市ボランティア情報センター運営委員／社会福祉法人広島市社会福</p>

	社協議会 【構成員】広島市社会福祉協議会第8次福祉計画策定委員／社会福祉法人広島市社会福祉協議会
濱長 真紀	【委員】令和4年度広島県教科図書選定審議会委員／広島県教育委員会 【委員】令和4年度広島県生涯学習審議会／広島県教育委員会

▶1-5 ひろしま未来交流会

立場・分野・地域・世代の垣根をこえて広島の未来を語り合う交流会を開催（毎月第2金曜日）した。

OUTPUT 実施回数：11回 参加者数：延べ159名

OUTCOME マルチステークホルダーの対話機会の促進

<実施概要>

回	日程	参加者数	意見交換テーマ
第87回	2022年 4月8日（金） 19:00～21:00	9名	贈ろう森プロジェクト／シェアリンク広島／広島へ行く／戦争の反対ではない平和／広島の伝統工芸／広島の未来／広島の夜景
第88回	5月13日（金） 19:00～21:00	15名	どんな本屋なら行きたい？／若者はユウウツ!？／健康寿命を延ばすためには／人口減少（転出）／動画制作
第89回	6月10日（金） 19:00～21:00	11名	社会起業家／核兵器禁止条約締約国会議／美味しい珈琲屋さん／企業家教育／物価上昇／瀬戸内海の文化
第90回	8月19日（金） 19:00～21:00	14名	地域の文化を守り育てる／広島の行ってほしい場所／メタバース×〇〇／原爆の日／原爆以外の広島／医療費の下げ方
第91回	9月9日（金） 19:00～21:00	14名	今の広島をどう思う？／世界の環境汚染を改善するために広島から何ができるか／シューマツハカレッジの事例から／通園バスの事故から日本を考える／円安と物価高を個人としてどう立ち向かうか
第92回	10月14日（金） 19:00～21:00	13名	消毒液／もみじまんじゅう／広島の団体（保健福祉、ぴあサポート、メンタルヘルス、障害者）を教えて！／ナルシスト第1位／札幌広福／仕事の理不尽にどう耐えてきたか／ユーザー目線の車
第93回	11月11日（金） 19:00～21:00	17名	災害時におけるペットの避難／マイナンバーの使いこなし方／行きたい場所／バスの置き去り問題／就活／最期の晩餐／食品ロス対策

第94回	12月9日（金） 19:00～21:00	14名	感覚のチェンジ／サッカースタジアムを盛り上げる方法／流川の活性化／図書館に期待するもの／広島ならではの遊び／B型の異業種連携
第95回	2023年 1月13日（金） 19:00～21:00	13名	初詣どこに行った？／加藤友三郎のイベント／多文化共生／街全体で輝きたい／ゲーム害／おばあちゃんを通院させる方法／学校図書
第96回	2月10日（金） 19:00～21:00	19名	今住んでいる家で必要な家電／広島の転出のナゾ／長崎の平和運動／ウクライナの戦争に何ができるか／広島食料事情／首相秘書官の差別発言からLGBTを考える
第97回	3月10日（金） 19:00～21:00	13名	起業についての認識／尊厳死と安楽死／G7サミットの3日どうする？／35歳以下の集まる所／核兵器廃絶／100回記念どうする？

※7月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を延期した。

（2）組織力・担い手を育成する事業

NPO の組織基盤やガバナンスの強化を促し、持続可能な地域づくりを担う実践者や支援者の育成、ユースの活躍創出を図った。

①実施概要

NO	区分	事業名	事業内容	期間	場所	収益
2-1	継続	ひろしま NPO サポート倶楽部	ゆうちょ銀行の口座寄付を財源とした NPO への助成金配分。	年間	県内	寄付金
2-2	継続	ろうきん NPO 寄付システム	中国労働金庫の口座寄付を財源とした NPO への助成金配分。	年間	県内	寄付金
2-3	継続	NPO 事務局センター・NPO 事務支援カンファレンス	全国の NPO 支援センターと連携した、NPO の事務・経営支援。	年間	全国	自主財・利用料
2-4	継続	非営利組織の会計サポート	非営利組織の事務運営力の向上のために、会計や税務に関する相談対応、経理代行のサポート等を行う。	年間	県内	自主財・利用料
2-5	継続	協力・後援・連携事業の推進	各主体から依頼のある会議・行事等への参加や開催協力。	年間	全国	自主財 ほか
2-6	継続	講師等の派遣	各主体から依頼のある研修会・フォーラム等への講師派遣。	年間	全国	自主財・謝礼金
2-7	継続	廿日市市市民活動相談業務	廿日市市市民活動センターの相	年間	廿日市	受託料

			談窓口業務の支援。		市	
2-8	継続	JICA 中国開発教育支援事業	JICA 中国と連携した国際協力の担い手育成のためのプログラム企画や施設展示、広報等。	年間	中国地方	受託料
2-9	継続	Green Gift 地球元気プログラム 2021-2022	東京海上日動火災保険株式会社・日本 NPO センター等と連携した、親子向けの環境保全活動の伴走支援。	年間	中国地方	受託料
2-10	継続	2023 年度地球環境基金助成金説明会の開催に係る業務（中国地区）	地球環境基金の助成金説明会（中国地区）の開催及び助成金審査に係る情報提供等を行う。	年間	中国地方	受託料
2-11	継続	廿日市市避難行動要支援者避難支援事業アドバイザー業務	地域における避難行動要支援者に係る避難支援体制の構築を支援する。	10～3月	廿日市市	受託料
2-12	継続	子育て支援人材育成事業	子育て支援員や企業等の子育て支援ボランティア、子育て支援団体に必要な人材を育成する。	年間	県内	自主財、謝礼金、利用料
2-13	継続	インターンシップを通じたコース等の人材育成事業	大学生等を対象としたひろしま NPO センターのインターンシップの受入による人材育成。	年間	県内	自主財
2-16	新規	かめのり塾	地域の担い手に必要な多文化共生分野の知識と、組織や事業のマネジメントに必要なスキルを学ぶ研修を開催する。	1～3月	中国・四国地方	受託料
2-15	新規	2022 年度 JICA 中国青年研修事（東ティモール）	行政官の人材育成を図るとともに、研修等を通して市民の国際理解、地域の国際化に寄与する。	1～3月	中国地方	受託料
2-16	新規	2022 年度 JICA 中国青年研修事（アフリカ）	行政官の人材育成を図るとともに、研修等を通して市民の国際理解、地域の国際化に寄与する。	1～3月	中国地方	受託料
2-17	新規	2022 年度 JICA 中国青年研修事（ヨルダン・トルコ）	行政官の人材育成を図るとともに、研修等を通して市民の国際理解、地域の国際化に寄与する。	1～3月	中国地方	受託料

②実施結果

▶2-1 ひろしま NPO サポート倶楽部

株式会社ゆうちょ銀行と連携した寄付募集及び NPO 法人への助成金配分を行った。

OUTPUT 助成団体：4 団体 助成総額：200,000 円

OUTCOME NPO の財政基盤整備

<助成概要>

NO	団体名	所在地	助成額
1	NPO 法人令和花のチカラ研究所	広島市	50,000 円
2	NPO ひろしまレクリエーション協会	広島市	50,000 円
3	NPO 法人グリーンラインを愛する会	福山市	50,000 円
4	NPO 法人ベトナム友の会ーヒロシマ	広島市	50,000 円

▶2-2 ろうきん NPO 寄付システム

中国労働金庫の NPO 寄付システムと連携した寄付募集及び NPO 法人への助成金配分を行った。

OUTPUT 助成団体：6 団体 助成総額：300,000 円

OUTCOME NPO の財政基盤整備

<助成概要>

NO	分野	団体名	所在地	助成額
1	保健・医療・福祉	NPO 法人コーチズ	広島市	50,000 円
2	保健・医療・福祉	NPO 法人 ひろしまレクリエーション協会	広島市	50,000 円
3	子どもの健全育成	NPO 法人 子どもコミュニティネットひろしま	広島市	50,000 円
4	子どもの健全育成	NPO 法人広島水球クラブ	広島市	50,000 円
5	環境保全	NPO 法人グリーンラインを愛する会	福山市	50,000 円
6	国際協力	NPO 法人ベトナム友の会ーヒロシマ	広島市	50,000 円

▶2-7 廿日市市市民活動相談業務

廿日市市市民活動センターの相談業務の支援。団体設立、資金調達、助成金・支援制度、組織・活動運営等の相談対応を行った。

OUTPUT 実施概要：毎月第 2・4 木曜日 相談対応：16 件

OUTCOME NPO・市民活動団体の課題解決

▶2-10 助成金説明会等の開催

助成財団等と連携して NPO 向けの助成金説明会等を開催した。

OUTPUT 助成金説明会の開催：1 回 延べ参加者：8 名

OUTCOME NPO の財政基盤整備

<2023 年度地球環境基金助成金説明会（中国地方）>

【日 時】令和 4 年 10 月 25 日（火）16:00～18:00

【場 所】ひろしま NPO センター（広島県広島市中区紙屋町）、オンライン会議併用

【参加者】計 8 名（内訳 公益財団法人：1 名、NPO 法人：2 名、一般社団法人：3 名、大学：1 名、その他：1 名）

【主催】独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金部

【協力】中国環境パートナーシップオフィス、中国地方 ESD 活動支援センター、特定非営利活動法人ひろしま NPO センター

【講師等】上園由起／緑パワーしまね コーディネーター

藤原園子／公益財団法人 水島地域環境再生財団 事務局長

森田桂治／特定非営利活動法人 アーキペラゴ 副理事長

谷尚真・武内里実／独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金部

【概要】助成金の活用事例紹介と助成金説明会の 2 部構成。活用事例紹介では、地球環境基金助成金で設定されている複数の助成メニューについて理解を深めるとともに、団体の活動の広がりとそれに応じた助成メニューの効果的な選択による相乗効果について、事例をもとに紹介した。

（3）市民社会連帯を強化する事業

市民セクターのエンパワメントを高めるためのパートナーシップを形成し、立場・地域・分野・世代をつなげるコーディネーションや中間支援機能の拡充を図った。

①実施概要

NO	区分	事業名	事業内容	期間	場所	収益
3-1	継続	ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会事務局	広島県・市町・環境団体等と連携した県民参加の森づくり運動の実行委員会事務局。	年間	県内	受託料
3-2	継続	サテライトキャンパスひろしま	教育ネットワーク中国と連携したサテライトキャンパスひろし	年間	広島市	自主財

			まの運営や会議室を活用した交流支援。			
3-3	継続	東日本大震災県外自主避難者等への情報支援事業	中国5県のNPO支援センターやひろしま避難者の会アスチカと連携した避難者への支援活動。	年間	中国地方	自主財
3-4	継続	中国5県中間支援組織連絡協議会	中国5県のNPO支援センターと連携した情報・ノウハウ・人材交流や、中国5県の共通課題を解決するための協働取組の展開。	年間	中国地方	自主財
3-5	継続	令和4年度中国環境パートナーシップオフィス（EPO ちゅうごく）管理運営等業務	環境省との協働による、中国地方の環境パートナーシップ拠点・中国地方ESDセンターの運営や協働取組・ESDに関する事業の推進。	年間	中国地方	受託料
3-6	継続	SDGs推進のための事業	広島県（SDGs未来都市）や各主体と連携したSDGs推進のためのネットワーク形成や交流機会、協働取組等の実施。	年間	全国	自主財・受託料
3-7	継続	被災地支援-PWJ	西日本豪雨の復興活動を通して形成されたNPOによる、被災者の交流や地方防災力強化に係る活動を支援する。	年間	県内	助成金
3-8	継続	スペシャルオリンピックス	2022年度第8回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・広島の開催に係るボランティア募集・運営の支援。	年間	県内	自主財
3-9	継続	第8回ボランティア交流サミットひろしま	広島県社会福祉協議会と共催して、ボランティア活動に係る団体や個人が集い交流や情報交換を行う機会を企画・運営する。	年間	県内	自主財
3-10	新規	福山市まちづくりサポートセンター運営業務	多様な主体が参画し、地域課題・社会的課題の解決を行うため、福山市まちづくりサポートセンターの運営や強化を行う。	年間	福山市	受託料
3-11	新規	2023年G7広島サミットに向けたプロジェクト	2023年に日本で開催されるG7サミット首脳会議に市民社会の声を反映するため、県内外のNPO/NGO等と連携して各国政	年間	全国	自主財

			府に働きかける。			
--	--	--	----------	--	--	--

②実施結果

▶3-5 令和4年度中国環境パートナーシップオフィス管理運営等業務

環境教育等促進法や ESD 国内実施計画で規定する役割を踏まえて、多様な主体による協働・連携の取組を広げることで、環境保全活動の活性化や地域循環共生圏の形成、ESD の推進を図る。

<EPO ちゅうごく>

OUTCOME

全国モデルとなる地域循環共生圏プラットフォームの構築

企業、自治体、ユース、マスコミ等とのパートナーシップの拡充

相談対応や行事等の共催・協力・講師の依頼件数の増加

OUTPUT

地域循環共生圏づくり事業の伴走支援：**4** 団体

中間支援組織等が行うイベント・セミナー等の開催協力：**13** 回

相談対応：**128** 件

情報発信：**1,714** 件（アクセス数：40,732 件）

<中国地方 ESD 活動支援センター>

OUTCOME

SDGs の達成や脱炭素社会の実現に向けた ESD の先駆的实践及び活動支援の展開

第2期 ESD 国内実施計画の推進に向けたビジョンやノウハウの形成

OUTPUT

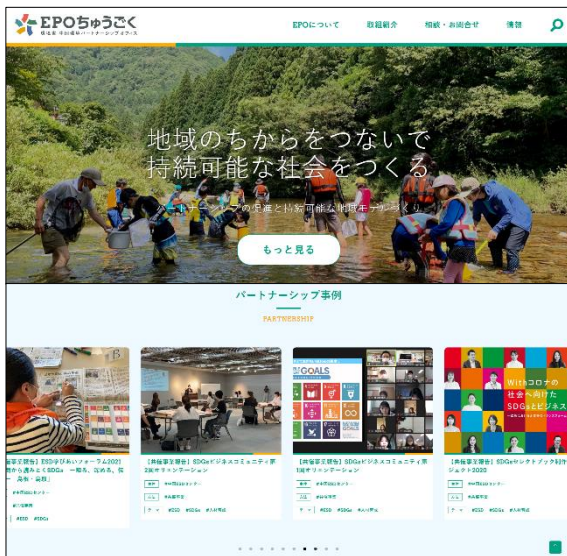
ESD 学び合いフォーラムの開催：1 回、参加者：46 名

地域 ESD 活動推進拠点における事業支援：2 拠点

ESD 活動の支援：計 54 件（広島県 SDGs ビジネスコミュニティ：計 8 件（共催：2 件、出席：6 件）、東広島市教育委員会生涯学習課：計 16 件（講師：12 件、出席：4 件）、北栄町脱炭素ロードマップ策定支援：計 11 件（共催：1 件、出席：5 件）、安田女子大学プロジェクト支援：計 12 件（出席：12 件）、その他イベント等：計 11 件（共催：1 件、協力：2 件、講師：5 件、出席：3 件）、後援名義申請承諾：計 2 件

相談対応：58 件

情報発信：296 件（アクセス数：2,091 件）



EPO ちゅうごくのホームページ
 （事業報告掲載参照）<https://epo-cg.jp/>



ANNUAL REPORT 2020-2022
<https://epo-cg.jp/activity/annual-report-2020-2022/>
 日本海新聞 2021年10月17日（日）掲載

(4) 社会的インパクトを創出する事業

重点テーマの問題解決や価値創造を推進し、災害や新型コロナからの復興と次なる備え、環境・社会・経済が好循環する協働と仕組みづくりを図った。

①実施概要

NO	区分	事業名	事業内容	期間	場所	収益
4-1	継続	広島市公募型常設オープンスペース「つばさ（中区）」	広島市地域子育て支援拠点事業等に係る補助事業を活用した子育てオープンスペース（中区）の運営や親子の交流機会等の支援。	年間	広島市	自主財、補助金、利用料
4-2	継続	広島市公募型常設オープンスペース「いいね（南区）」	広島市地域子育て支援拠点事業等に係る補助事業を活用した子育てオープンスペース（南区）の運営や親子の交流機会等の支援。	年間	広島市	自主財、補助金、利用料
4-3	継続	中国5県休眠預金等活用コンソーシアム休眠預金活用事業 2019年度通常枠	中国5県のNPO支援センターと連携した休眠預金活用のためのコンソーシアム事務局の運営や助成事業の展開。	年間	中国地方	助成金
4-4	継続	中国5県休眠預金等活用コンソーシアム休眠預金活用事業 2020年度通常枠	中国5県のNPO支援センターと連携した休眠預金活用のためのコンソーシアム事務局の運営や助成事業の展開。	年間	中国地方	助成金
4-5	継続	中国5県休眠預金等活用コンソーシアム休眠預金活用事業 2021年度通常枠	中国5県のNPO支援センターと連携した休眠預金活用のためのコンソーシアム事務局の運営や助成事業の展開。	年間	中国地方	助成金
4-6	新規	中国5県休眠預金等活用コンソーシアム休眠預金活用事業 2022年度通常枠	中国5県のNPO支援センターと連携した休眠預金活用のためのコンソーシアム事務局の運営や助成事業の展開。	1～3月	中国地方	助成金
4-7	新規	災害支援活動	行政・社協・NPO等と連携した災害復旧・復興や防災のための活動支援、関係機関との協働事業の展開。	年間	県内	自主財、寄付金

②実施結果

▶4-3 中国 5 県休眠預金等活用コンソーシアム「中国 5 県休眠預金等活用事業 2019」

▶4-4 中国 5 県休眠預金等活用コンソーシアム「中国 5 県休眠預金等活用事業 2020」

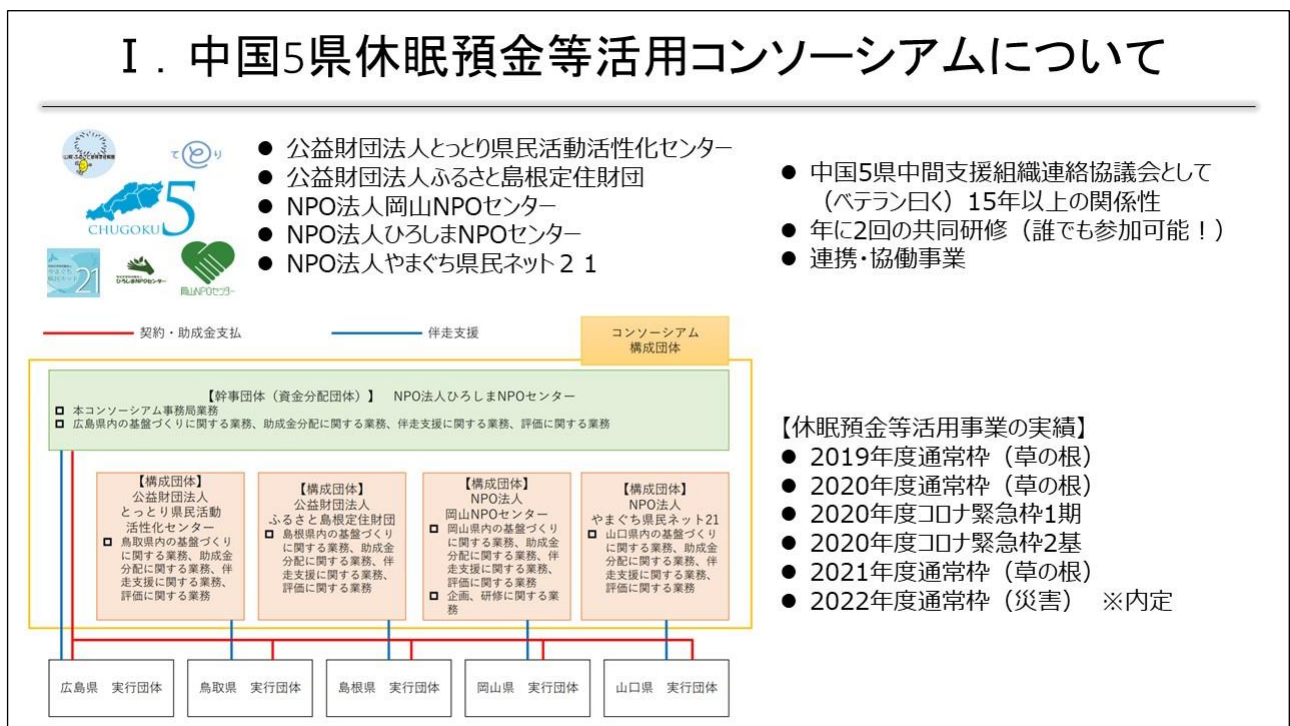
▶4-5 中国 5 県休眠預金等活用コンソーシアム「中国 5 県休眠預金等活用事業 2021」

▶4-6 中国 5 県休眠預金等活用コンソーシアム「中国 5 県休眠預金等活用事業 2022」

中国 5 県の NPO 支援センター（公益財団法人とっとり県民活動支援センター、公益財団法人ふるさと島根定住財団、特定非営利活動法人岡山 NPO センター、特定非営利活動法人ひろしま NPO センター、特定非営利活動法人やまぐち県民ネット 21）と連携したコンソーシアムにより、休眠預金等活用事業の資金分配団体を運営し、実行団体への助成金の配分及び伴走支援を行った。



<実施概要>



Ⅱ. 中国5県休眠預金等活用コンソーシアム休眠預金活用事業 (2019通常)について

 <p>中山間地域・離島における生業づくりとそれを支える仕組みづくり</p> <p>採択数1団体 (申請1団体中)</p> <p>助成額総額：22,352,160円 ・助成金：20,000,000円 ・評価費：1,000,000円 ・緊急枠：1,352,160円</p>	 <p>貧困や虐待の被害にある子どもたちの生活再建を目的とする拠点整備</p> <p>採択数1団体 (申請2団体中)</p> <p>助成額総額：21,780,000円 ・助成金：20,000,000円 ・評価費：920,000円 ・緊急枠：860,000円</p>	 <p>「ひと」「しごと」「地域資源」等の好循環モデル形成</p> <p>採択数2団体 (申請6団体中)</p> <p>助成額総額：24,000,000円 ・助成金：20,000,000円 ・評価費：1,000,000円 ・緊急枠：3,000,000円</p>	
<p>公募 2020.1.27~2.28</p>	<p>審査会 2020.3.24</p>	<p>実行団体との契約 2020.4.24~8.1</p>	<p>契約終了 ~2023.3.31</p>
<p>【審査委員】 岡崎昭博氏 (中国労働金庫営業統括部営業企画課 課長) 小谷典子氏 (山口大学 名誉教授) 藤原啓氏 (株式会社総合政策研究所 代表取締役社長) 和田広子氏 (公益財団法人福武教育文化振興財団)</p>		<p>POによる伴走支援</p>	

Ⅱ. 中国5県休眠預金等活用コンソーシアム休眠預金活用事業 (2019通常)について

 <p>たすき株式会社 (島根県雲南市)</p> <p>場を通じた多世代・他業種の関わり合いとコレクティブな支援から、まちにチャレンジや生業を増やす事業</p> <p>助成額総額：22,352,160円 ・助成金：20,000,000円 ・評価費：1,000,000円 ・緊急枠：1,352,160円</p>	 <p>認定NPO法人子どもシェルターモモ (岡山県岡山市)</p> <p>児童養護施設等を退所後に困難を抱えた若者支援の充実・強化事業</p> <p>助成額総額：21,780,000円 ・助成金：20,000,000円 ・評価費：920,000円 ・緊急枠：860,000円</p>
 <p>NPO法人湯来観光地域づくり公社 (広島県広島市)</p> <p>湯来町の課題を解決する、収益性の高い観光モデル構築事業</p> <p>助成額総額：13,500,000円 ・助成金：10,000,000円 ・評価費：500,000円 ・緊急枠：3,000,000円</p>	 <p>NPO法人NPO狩留家 (広島県広島市)</p> <p>狩留家特産「狩留家なす」の物流センターを整備し地域の活性化を推進する</p> <p>助成額総額：10,500,000円 ・助成金：10,000,000円 ・評価費：500,000円 ・緊急枠：0円</p>

<広島県内の実施概要>

2019 通常	テーマ	「ひと」「しごと」「地域資源」等の好循環モデル形成
	採択団体	特定非営利活動法人湯来観光地域づくり公社 特定非営利活動法人 NPO 狩留家
2020 通常	テーマ	生きづらさを抱える人が、働くことを通じて自分らしく暮らすことができるサポート事業
	採択団体	特定非営利活動法人ブエンカミーノ
2021 通常	テーマ	中山間地域を担う生業づくり
	採択団体	特定非営利活動法人三段峡-太田川流域研究会 一般社団法人フウド
2022 通常	※資金分配団体に応募申請し採択された。	



中国5県休眠預金等活用コンソーシアム公式ページ
(事業報告掲載) <https://kyumin-chu5.npoc.or.jp/>



2019 通常枠の報告書
<https://kyumin-chu5.npoc.or.jp/information/chu5/1328/>

III 決算報告

■活動計算書7期比較

勘定科目	2016 度	2017 年度	2018 度	2019 年度	2020 年度
経常収益	44,850,189	102,657,963	120,801,974	129,318,986	193,803,616
人件費	30,823,823	46,355,803	60,230,625	62,465,592	61,772,485
その他経費	28,444,144	46,597,820	60,535,007	65,178,726	122,874,612
当期経常増減額	-14,417,778	9,704,340	36,342	1,674,668	9,156,519
過年度損益修正益	0	9,784	0	200,000	0
過年度損益修正損	17,072	3,216,953	0	8,651	0
固定資産除去損	0	0	0	0	0
法人税	71,000	71,000	71,000	71,000	142,000
当期正味財産増減額	-14,505,850	6,426,171	-34,658	1,795,017	9,014,519
前期繰越正味財産額	1,764,696	-12,741,154	-6,314,983	-6,349,641	-4,554,624
次期繰越正味財産額	-12,741,154	-6,314,983	-6,349,641	-4,554,624	4,459,895

勘定科目	2021 度	2022 年度
経常収益	344,217,466	267,653,405
人件費	69,454,547	90,995,774
その他経費	270,806,012	174,741,893
当期経常増減額	3,956,907	1,915,738
過年度損益修正益	0	0
過年度損益修正損	0	0
固定資産除去損	0	140,132
法人税	71,000	71,000
当期正味財産増減額	3,885,907	1,704,606
前期繰越正味財産額	4,459,895	8,345,895
次期繰越正味財産額	8,345,802	10,050,408

活動計算書

[税込] (単位:円)

特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター

自 令和4年 4月 1日 至 令和5年 3月31日

特定非営利活動に係る事業	休眠預金2019	休眠預金2020	休眠預金2021	休眠預金2022	合計
【経常収益】					
【受取会費】					
正会員受取会費	360,000				360,000
協力会員受取会費	157,000				157,000
【受取寄付金】					
受取寄付金	3,731,660				3,731,660
【受取助成金等】					
受取助成金		19,024,020	33,180,054	84,903,903	137,288,022
受取補助金	33,912,000			180,045	33,912,000
【事業収益】					
事業収益	4,020,696				4,020,696
受託事業収益	87,154,496				87,154,496
【その他収益】					
受取利息	189				189
雑収益	1,029,342				1,029,342
経常収益計	130,365,383	19,024,020	33,180,054	84,903,903	267,653,405
【経常費用】					
【事業費】					
(人件費)					
給料 手当(事業)	66,770,181	5,280,909	1,520,287	1,380,981	74,999,013
通勤費(事業)	3,667,450	312,216	181,838	40,269	4,203,118
法定福利費(事業)	7,656,594	838,971	255,320	212,740	8,970,825
福利厚生費(事業)	113,116				113,116
人件費計	78,207,341	6,432,096	1,957,445	1,633,990	88,286,072
(その他経費)					
諸謝金(事業)	4,004,145	610,502	408,000	396,000	5,418,647
業務委託費(事業)	4,147,725	7,016,145	4,836,621	4,391,180	20,514,296
印刷製本費(事業)	3,257,759				3,257,759
旅費交通費(事業)	5,423,623	569,511	77,853	134,589	6,205,576
通信運搬費(事業)	1,462,426	115,925	24,540	55,856	1,660,967
消耗品費(事業)	2,183,373	201,280	20,698	34,670	2,440,021
図書購読費(事業)	80,537	29,030			109,567
修繕費(事業)	89,100				89,100
水道光熱費(事業)	299,340	20,090	44,458	96,609	460,497
リース料(事業)	966,284				966,284
地代家賃(事業)	4,965,876	234,912	519,816	1,129,596	6,850,200
賃借料(事業)	733,730	185,561	9,221		928,512
広告宣伝費(事業)	15,500				15,500
接待交際費(事業)	40,584				40,584
保険料(事業)	128,953				128,953
諸会費(事業)	64,000				64,000
租税公課(事業)	6,143,050				6,143,050
研修費(事業)	131,440	26,000			157,440
支払手数料(事業)	227,900	44,968	39,402	60,995	373,265
支払助成金	444,694	3,538,000	25,242,000	76,970,418	106,195,112
支払利息(事業)	1,105,228				1,105,228
雑費(事業)	340,566				340,566
その他経費計	36,255,833	12,591,924	31,222,609	83,269,913	163,465,124
事業費計	114,463,174	19,024,020	33,180,054	84,903,903	251,751,196
【管理費】					
(人件費)					
給料 手当	1,864,680				1,864,680
通勤費	36,547				36,547
法定福利費	798,995				798,995
福利厚生費	9,480				9,480
人件費計	2,709,702	0	0	0	2,709,702
(その他経費)					
業務委託費	1,236,000				1,236,000
諸謝金	165,000				165,000
旅費交通費	210,920				210,920
通信運搬費	565,313				565,313
消耗品費	553,641				553,641
水道光熱費	109,996				109,996
地代家賃	1,245,468				1,245,468
賃借料	13,475				13,475
接待交際費	157,723				157,723
減価償却費	5,310,031				5,310,031
保険料	22,600				22,600
諸会費	92,275				92,275
リース料	224,272				224,272
租税公課	16,346				16,346
支払手数料	320,162				320,162
支払利息	183,231				183,231
保証料	39,053				39,053
雑費	811,263				811,263
その他経費計	11,276,769	0	0	0	11,276,769
管理費計	13,986,471	0	0	0	13,986,471
経常費用計	128,449,645	19,024,020	33,180,054	84,903,903	265,737,667
当期経常増減額	1,915,738	0	0	0	1,915,738
【経常外収益】					
経常外収益計	0	0	0	0	0
【経常外費用】					
固定資産除却損	140,132				140,132
経常外費用計	140,132	0	0	0	140,132
税引前当期正味財産増減額	1,775,606	0	0	0	1,775,606
法人税、住民税及び事業税	71,000				71,000
当期正味財産増減額	1,704,606	0	0	0	1,704,606
前期繰越正味財産額	7,331,674	1,004,167	9,961	0	8,345,802
次期繰越正味財産額	9,036,280	1,004,167	9,961	0	10,050,408

貸借対照表

特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター
全事業所[税込] (単位:円)
令和5年3月31日現在

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】		【流動負債】	
(現金・預金)		未払金	13,552,061
レジ現金(つばさ)	20,000	前受金	140,060,229
レジ現金(いいね)	105,550	短期借入金	43,000,000
普通預金	154,728,360	預り金	376,381
定期預金	50,000	未払法人税等	71,000
現金・預金計	154,903,910	未払消費税等	3,771,700
(売上債権)		流動負債計	200,831,371
未収金	45,176,968	【固定負債】	
売上債権計	45,176,968	長期借入金	4,880,000
(その他流動資産)		固定負債計	4,880,000
前払費用	2,513,054	負債合計	205,711,371
仮払金	457,864	正味財産の部	
その他流動資産計	2,970,918	【正味財産】	
流動資産合計	203,051,796	前期繰越正味財産額	8,345,802
【固定資産】		当期正味財産増減額	1,704,606
(有形固定資産)		正味財産計	10,050,408
建物	1,096,852	正味財産合計	10,050,408
建物附属設備	1,123,705		
什器備品	5,570,337		
一括償却資産	638,792		
有形固定資産計	8,429,686		
(無形固定資産)			
電話加入権	152,880		
ソフトウェア	732,417		
無形固定資産計	885,297		
(投資その他の資産)			
保証金	200,000		
敷金	2,700,000		
長期前払費用	495,000		
投資その他の資産計	3,395,000		
固定資産合計	12,709,983		
資産合計	215,761,779	負債及び正味財産合計	215,761,779

財 産 目 録

特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター
全事業所【税込】(単位:円)
令和5年 3月31日 現在

《資産の部》

【流動資産】

(現金・預金)

レジ現金(つばさ)	20,000
レジ現金(いいね)	105,550
普通預金	154,728,360
広銀・銀山町支店	(11,532,349)
広銀・県庁支店	(78,097)
広銀・八丁堀支店	(114,500)
広銀・八丁堀支店	(1,611,450)
広銀・銀山町支店	(571,166)
広銀・八丁堀支店	(825,557)
広銀・県庁支店(休眠2019)	(5,411,178)
広銀・県庁支店(休眠2020)	(19,513,821)
広銀・銀山支店(休眠2021)	(28,701,514)
広銀・県庁支店(休眠2022)	(85,596,700)
振替貯金(会費)	(7,800)
振貯・サポート倶楽部	(345,547)
労金寄付①保険医療	(5,400)
労金寄付②社会教育	(5,460)
労金寄付③まちづくり	(18,440)
労金寄付④文化スポ	(58,720)
労金寄付⑤環境保全	(4,400)
労金寄付⑥災害救援	(123,474)
労金寄付⑦地域安全	(29,960)
労金寄付⑧人権平和	(11,940)
労金寄付⑨国際協力	(600)
労金寄付⑩男女共同	(2,120)
労金寄付⑪子ども健全	(7,200)
労金寄付⑫情報化社会	(1,480)
労金寄付⑬経済活動	(8,840)
縦上労金寄付⑭職業訓練	(7,640)
労金寄付⑮消費者保	(24,500)
労金寄付⑯NPO支	(700)
労金寄付⑰フリー	(15,321)
労金寄付⑱観光振興	(40,805)
労金寄付⑳中山間振興	(1,680)
労金寄付㉑立上助成金	(50,001)
定期預金	50,000
現金・預金計	154,903,910
(売上債権)	
未収金	45,176,968
環境省EPO	(37,875,250)
新)福山まちサポ	(2,164,741)
廿日市避難	(929,280)
JICA中国開発教育	(3,841,113)
広島県教育委員会	(300,000)
廿日市市	(35,785)
たる募金(いいね)	(5,799)
会計サポート	(25,000)
売上債権計	45,176,968
(その他流動資産)	
前払費用	2,513,054
紙屋町カレリア3階	(495,000)
西日本携帯電話(株)	(19,474)
G7サミット	(1,998,580)
仮払金	457,864
社員	(431,572)
つばさ電気代	(16,392)
会計サポート	(9,900)
その他流動資産計	2,970,918
流動資産合計	203,051,796

財 産 目 録

特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター
全事業所【税込】(単位:円)
令和5年 3月31日 現在

【固定資産】

(有形固定資産)

建 物	1,096,852
建物附属設備	1,123,705
什器 備品	5,570,337
一括償却資産	638,792
有形固定資産 計	8,429,686

(無形固定資産)

電話加入権	152,880
ソフトウェア	732,417
無形固定資産 計	885,297

(投資その他の資産)

保 証 金	200,000
敷 金	2,700,000
紙屋町ガレリア3階	(2,700,000)
長期前払費用	495,000
投資その他の資産 計	3,395,000

固定資産合計

12,709,983

資産の部 合計

215,761,779

《負債の部》

【流動負債】

未 払 金

給 与(センター)	13,552,061
給 与(子育て)	(6,932,796)
社会保険料	(2,145,862)
労働保険料	(1,095,131)
諸謝金	(671,454)
WEB振込料	(171,300)
JCBカード	(8,228)
JCBカード	(31,020)
経費(環境省EPO)	(253,000)
経費(JICA開発)	(44,070)
経費(廿日市避難)	(176,000)
経費(G7サミット)	(135,190)
経費(休眠預金2019)	(250,657)
経費(休眠預金2020)	(429,444)
経費(休眠預金2021)	(350,477)
経費(休眠預金2022)	(122,625)
その他	(734,807)

前 受 金

140,060,229

協力会員会費

(3,000)

休眠預金2019

(4,933,171)

休眠預金2020

(18,805,371)

休眠預金2021

(28,411,130)

休眠預金2022

(85,416,655)

休眠預金コロナ1期

(247,280)

休眠預金コロナ2期

(1,917,474)

その他

(326,148)

短期借入金

43,000,000

広銀3400万(R4.5~)

(34,000,000)

広銀300万(R5.3~)

(3,000,000)

広銀600万(R5.3~)

(6,000,000)

預 り 金

376,381

給与源泉税

(76,211)

報酬源泉税

(60,608)

雇用保険料

(239,562)

未払法人税等

71,000

未払消費税等

3,771,700

流動負債 計

200,831,371

【固定負債】

長期借入金

4,880,000

広銀カードローン

(2,736,000)

広銀500万

(2,144,000)

固定負債 計

4,880,000

負債の部 合計

205,711,371

正味財産

10,050,408

財務諸表の注記

特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター

【重要な会計方針】

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

(1). 棚卸資産の評価基準及び評価方法

原価法による先出法

(2). 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産：定率法

ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）並びに平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法

無形固定資産：定額法

(3). 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。

【事業費の内訳】

事業損益の明細は別紙に出力しています。

【固定資産の増減内訳】

[税込] (単位:円)

科目	期首帳簿価額	取得	減少	減価償却前 期末帳簿価額	当期減価償却額	期末帳簿価額
(有形固定資産)						
建物	1,233,641	225,500	0	1,459,141	△ 362,289	1,096,852
建物附属設備	1,204,885	0	0	1,204,885	△ 81,180	1,123,705
什器 備品	3,291,780	6,075,250	0	9,367,030	△ 3,796,693	5,570,337
一括償却資産	1,521,661	0	0	1,521,661	△ 882,869	638,792
(無形固定資産)						
電話加入権	152,880	0	0	152,880	0	152,880
ソフトウェア	1,059,549	0	0	1,059,549	△ 327,132	732,417
(投資その他の資産)						
保証金	200,000	0	0	200,000	0	200,000
敷金	2,700,000	0	0	2,700,000	0	2,700,000
長期前払費用	495,000	0	0	495,000	0	495,000
合計	11,859,396	6,300,750	0	18,160,146	△ 5,450,163	12,709,983

【借入金を増減内訳】

[税込] (単位:円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
短期借入金 (広島銀行)	34,000,000		34,000,000	0
短期借入金 (広島銀行)	4,000,000	0	4,000,000	0
短期借入金 (広島銀行)	0	34,000,000	0	34,000,000
短期借入金 (広島銀行)	0	3,000,000	0	3,000,000
短期借入金 (広島銀行)	0	6,000,000	0	6,000,000
長期借入金 (広島銀行)	3,420,000	0	3,420,000	0
長期借入金 (広島銀行)	0	2,880,000	144,000	2,736,000
長期借入金 (広島銀行)	3,152,000	0	1,008,000	2,144,000
合計	44,572,000	45,880,000	42,572,000	47,880,000

特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター
代表理事 安藤周治・中村隆行 殿

監査報告書


私たちは、特定非営利活動促進法第18条の規定に基づき、特定非営利活動法人ひろしまNPOセンターの令和4年度（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）の業務及び財産の状況について監査を実施した。


監査の方法は、重要な会議の議事録その他の重要資料を閲覧するほか、理事から事業の報告を聴取し、また財産の状況については、証拠書類の閲覧、照合、質問等の合理的な保証を得るための手続きを行った。

監査の結果、法人の業務の執行に関しては、法令及び定款に違反する重大な事実はなく、令和3年度の特定非営利活動法人ひろしまNPOセンターの財産の状況は、NPO法人会計基準に準拠して財務諸表等に適正に表示されているものと認める。

以上

令和5年6月2日

監事 久宮信雄 

監事 赤野克秀 

2022 年度

ひろしま NPO センター事業報告書

2023 年 6 月

特定非営利活動法人ひろしま NPO センター

〒730-0031

広島市中区紙屋町 1 丁目 6-1 紙屋町ギャラリー 303 号室

TEL : 082-258-1348 FAX : 082-258-1349